

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
1	<p>中学3年生のときに再編を迎える生徒について、クラスを同じ学校出身の生徒で固める等の対応は考えられるか？</p>	<p>(学校教育課長) 中学3年生は受験期でもあり、子どもたちへの対応は確かにご不安な点だと思う。これについては、制度上は学校の判断でどのようなクラス編成にするか決定できる。</p> <p>(首席指導官) 教育委員会が命じることではないが、各学校で適切に対応すべき問題だと考える。また、再編前の段階から、お互いの学校と交流できる場を設ける取組みなどを検討したい。様々な人との出会いは不安もあるが、希望もある。より良い関係性の構築に繋がり、不安を解消できるような取組みを行っていきたい。</p>
2	<p>再編後、あと1年で卒業という状態でも体操服等を買替える必要があるか？</p>	<p>再編協議会(仮称)にて検討し、既存の体操服や制服の着用を認めれば買い替えの必要は無い。制服の場合、まずは制服の有無から協議していく。中学校については、教育委員会で標準服の設定を考えているところ。保護者の負担が出来るだけ少なくなるよう進めたい。</p>
3	<p>再編スケジュールは予定だと思うが、何年前くらいになれば予定が変更されるかが明らかになるのか？</p>	<p>目標としては計画通りに進めていきたいが、もし後ろ倒しにすることをお知らせするとすれば、再編協議に入る前の段階だろうと思われる。再編協議に入れば、協議がまとまり次第開校という形になる。</p>
4	<p>今後も少子化が続けば、今回の計画を実行しても将来的に再度再編が必要になるのではないか？ そうならないためにも、児童生徒数を増加させることが出来るような魅力・特色ある学校を作って欲しい。</p>	<p>(学校教育課長) 他の地区の説明会で、人口減を受け入れる先の暗い計画だと言われたことがある。ただ、日本全国で人口が減り続け、自治体同士で人の取り合うような状況の中、教育委員会としてできることは、周困から選ばれるような学校を作ることだと考えている。そのため、まずは規模を適正化し、教職員体制の充実を図る必要がある。学校の規模が大きくなれば、学級担任以外の加配や専科の先生が配置される可能性が高まる。また、1学年1クラスの場合は学年を1人の先生で受け持つ必要があるが、例えば1学年3クラスに先生が3人となれば、学年に対しチームで対応出来るため、指導の幅が広がる。まずは規模を適正化し、その後、魅力や特色ある学校づくりに踏み込んでいきたい。</p> <p>(首席指導官) 指導側の観点からのメリットを説明したが、子どもたち側の観点から補足。子どもたちはいずれ社会という大きな集団の中で生きることになるため、小規模な集団の中のみで育つよりも、その発達段階に応じ、適正規模の集団の中で多様な価値観に触れられる環境が大切である。</p>
5	<p>適正規模のメリットについて説明があったが、自分が子どもの頃と比べても、現在の学校規模で特に問題ないと感じている。両開校区や他の地域の方々から、学校規模を適正化すべきという意見や要望が上がったことを受けて、この計画がたてられたのか？</p>	<p>全国的な少子化の流れにより、現在、市内の大半の学校が小規模校となっており、さらに再編を行わなければ複式学級となる規模の学校も市内に複数存在している。矢留校区、両開校区においても、同様に規模が縮小していく見込みである。このような中、複式学級が発生した学校を場当たりに組み合わせるのではなく、これを機に、市内全ての学校を再編すべきと考えての計画であり、令和3年3月に出された柳川市立学校適正規模・適正配置化検討委員会の答申がもとになっている。なお、既に複式学級の基準に合致する学校があるため、旧大和町地区を優先したスケジュールを提示している。</p>

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
5 つづき	つまり希望調査等を行った上で、両開校区から再編の要望があったわけではないのか？	確かに個別の校区ごとに希望調査を行ったわけではない。もちろん現状のままで良いというのも1つの意見だと思う。しかし現状と今後を鑑みて、再編統合を行わなければ教育活動上の制約が多く、教育効果を上げにくいと、適正化が必要と考えての計画である。
6	今回の説明会は、計画の最終決定を周知するための説明会か？	最終決定ではなく、検討委員会からの答申を受けて教育委員会で検討した上で、ベストだと思われる案を説明しているもの。今後、説明会を行う中で、皆様の意見次第では計画の見直しもやむを得ないが、今後の人口予測を鑑みれば、再編自体を白紙にすることはできない。あくまでも、組み合わせの変更や更に大規模に統合するなどの検討になると考えている。